

平成28年6月1日号 (No.164)

「 無為 」

伊丹市立総合教育センター

所長 後藤 猛虎

伊丹市立南小学校の校長室に「無為」と書かれた額が掛かっています。誰が書いたかはわかりませんが、この「無為」という言葉は、『老子』の中によく出てくる言葉で、そこから抜粋したものだと思います。例えば次のような言葉があります。



無^む為^いを^な為^し、無^ぶ事^じを^じ事^とし、無^む味^みを^あ味^わう。

小^こを^お大^おとし、少^{せう}を^た多^たとする、怨^{おん}みに^こ報^こゆるに^と徳^{とく}を^も以^もて^す。

難^{かた}きを^お其^その^の易^{やす}きに^あ図^ずり、大^おを^お其^その^の細^{さい}に^あ為^す。

天^{てん}下^かの^の難^{かた}事^じは^ま必^{かな}ず^ず易^{やす}き^{こと}より^お作^あこ^り、天^{てん}下^かの^の大^お事^じは^ま必^{かな}ず^ず細^{さい}より^お作^あこ^る。

是^{こゝ}を^も以^もて^す聖^{せい}人^{にん}は^ま終^{つひ}に^お大^おを^あ成^よさ^す、故^{ゆゑ}に^お能^よく^お其^その^の大^おを^あ成^よす。

…………… (後略)

訳すと、何もしないことをふるまいとし、普通のことをいとなみとし、味の無いものを味わう、則ち、素材を味わうようにする。そうすることによって物事はうまくいく。小さなものには大きなものを、少ないものには多いものを与え、怨みには徳で報いる。難しいことは、それがまだ簡単うちに解決し、大きな問題は、それがまだ小さいうちに手を打つ。困難な事態は、必ず安易に解決できる小さなところから始まり、価値ある事業は細かい目立たないところから始まっていく。問題が小さく、少ないうちに処理するから大したことはしていないように見えるのだ。

老子の言う「無為」は、何もしないていることではありません。逆説的な言い回しで、事態が困難になったり、問題が大きくなったりする以前に大事を見越して、小さくて簡単に解決できるうちに様々な手を打つから、作為的なことは何もしていないように見える。それが「無為」だということです。現代でいう危機管理に通じるものがあります。常日頃から学校や子どもの安全や危機を見越し、策を打つから何事もしなかったように事が運ぶのです。「無為」には、先見の明が必要なのです。心すべき言葉です。

学習指導の改善・充実に向けて～平成28年度全国学力・学習状況調査から～

算数・数学編

今月号は算数・数学の問題の傾向と指導のポイントについて考えてみました。昨年度の結果からは、伊丹市では「資料の読み取り」「情報の取捨選択」「情報の文章化」に課題が見られました。このような力を伸ばすためにはどのようなことに取り組みばよいのでしょうか。

4 小学校 算数Bから

A小学校とB小学校の図書委員会は、協力して読書活動をすすめています。次の資料は、4月から7月までの4か月間の、各学校の本の貸出冊数の様子をまとめたものです。

4月から7月までの4か月間の 各学校の 本の貸出冊数の様子

表1「各学校の月ごとの貸出冊数(冊)」

学校	4月	5月	6月	7月	合計
A小学校	986	2918	3414	2420	9738
B小学校	849	2523	2938	2095	8405

表2「A小学校の本の種類ごとの貸出冊数(冊)」

物語	科学	歴史	伝記	その他	合計
3800	1977	1496	989	1476	9738

(3) 各学校の図書委員たちは、読書活動をすすめた成果を表すために、4月から7月までの4か月間の「物語」の貸出冊数の変化の様子を、それぞれ折れ線グラフにまとめた。



けんたさんは、上の2つのグラフの、5月から6月までの「物語」の貸出冊数の変化の様子を見比べて、次のように言いました。

けんた A小学校に比べてB小学校のほうが、5月から6月までの線のかたむきが急です。だから、A小学校に比べてB小学校のほうが、5月から6月までの「物語」の貸出冊数の増え方は大きいです。

けんたさんが言っている、——部のことは正しくありません。そのわけを、グラフから読み取れる貸出冊数に着目して、言葉や数を使って書きましょう。

【正答の条件】 次の①、②、③を全て書いていること。

① A小学校の5月から6月までの「物語」の貸し出し数が、約400冊増えている

② B小学校の5月から6月までの「物語」の貸し出し数が、約300冊増えている

③ A小学校に比べてB小学校の方が5月から6月までの「物語」の貸出冊数の増え方は大きくない

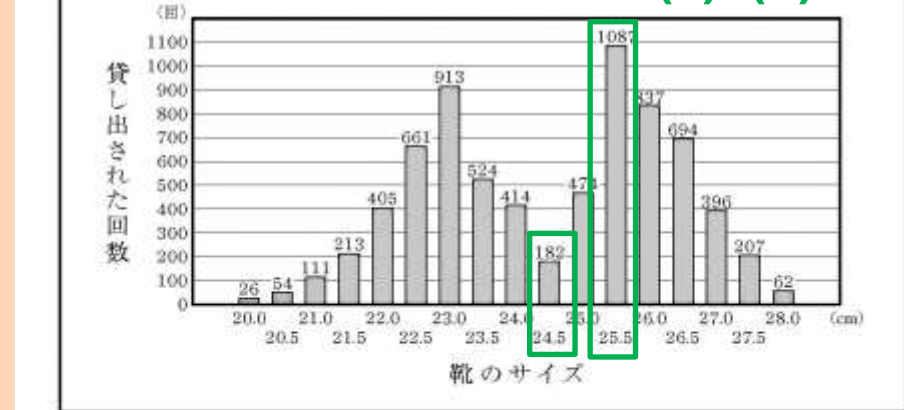
【正答例】 5月から6月までの「物語」の貸し出し冊数は、A小学校が約400冊増えている、B小学校が約300冊増えています。だから、A小学校に比べてB小学校の方が5月から6月までの「物語」の貸出冊数の増え方は大きくないです。

問い

中学校 数学Bから

5 あるボウリング場では、貸し出し用の靴をすべて新しいもの買い替えようとしています。そのために、貸し出し用の靴の総数や、過去1か月に靴が貸し出された回数について調べました。

- 調べたこと
- 貸し出し用の靴の総数 200 足
 - 貸し出された回数の合計 7260 回
 - 貸し出された靴のサイズの平均値 24.5 cm
 - 靴のサイズごとの貸し出された回数のグラフ (a)・(b)



上のグラフから、例えば、23.5 cmの靴は524回貸し出されたことがわかります。

調べたことをもとに、どのサイズの靴を何足買うかを考えます。

(1) 「貸し出された靴のサイズの平均値である24.5 cmの靴を最も多く買う」という考えは適切ではありません。その理由を、調べたことのグラフの特徴をもとに説明しなさい。

【正答の条件】 次の(a)、(c)または(b)、(c)について記述していること

(a) グラフの山の頂上にあたる靴のサイズは24.5cmではない

(b) 24.5cmは最頻値ではない

(c) 24.5cmの靴を最も多く買うことは適切ではない

【正答例】 例①：グラフの山の頂上に当たる靴のサイズは24.5cmではないので24.5cmの靴を買うことは適切ではない。例②：24.5cmは最頻値ではないので24.5cmの靴を最も多く買うことは適切ではない。

問い

「資料の読み取り」・「情報の取捨選択」・「情報の文章化」のポイント

- ①資料の読み取り→どの情報が必要なのかの判断→情報の文章化という、段階毎のスモールステップで指導する
- ②資料の見出しや、グラフの縦軸・横軸・単位の意味を理解させ、正確に資料を読み取る練習を行う
- ③問題文をよく読み、大事な言葉に線を引くなど、問題文と資料のつながりを理解させる
- ④資料から読み取った情報を整理し、根拠をもとに文章を作る練習を行う

よりよい授業をめざして

授業における指導のポイント

- ①反復練習や確認問題等、学習の振り返りの時間を設ける
- ②図や絵を用いて、式の意味を理解させる
- ③児童生徒が根拠をもとに自分の考えを説明する活動を取り入れる
- ④普段のノート指導で、書く活動を充実させる
- ⑤学習した内容を用いて問題づくりをさせる
- ⑥表、グラフ、図形などの学習において、ICTを活用して視覚的にとらえさせる

知っておこう!情報モラル・情報セキュリティ

最近、伊丹市内において、PCのウイルス感染や、SNS等への不適切な書き込みの事例が発生しています。学校園において導入しているPCにはウイルス対策ソフトやフィルタリングソフトが導入されていますが、それだけでは対応できない場合もあります。まずは、使用者が情報モラル・情報セキュリティの知識を身につけ、良識ある行動をとることが大切です。

【身代金要求型プログラム「ランサムウェア」に要注意!】

悪意のあるソフトウェアとして、「コンピュータウイルス」が広く知られていますが、最近では「ランサムウェア」と呼ばれる、「身代金要求型プログラム」による被害が急速に広がっています。PCに感染するとファイルが自動的にロックされ、開こうとすると「このファイルを開きたければ〇〇へ金を振り込め」というように身代金を要求されます。

【感染源】

- ウェブサイト上の広告を開いたとき
- 友人や店からの宣伝を装ったメールを開き、添付ファイルを実行したとき 等

【対処法】

- ウィンドウズや、ウイルス駆除ソフトを常に**最新の状態にアップデート**する
 - **不審なウェブサイトや、覚えのないメールなどは絶対に開かない**
- 正しい知識を身につけ、しっかりと危機管理を行いましょう。

【e-ラーニングを実施します】

平成28年6月8日（水）～7月8日（金）の期間に、**教職員の情報モラル・情報セキュリティ意識を向上**するために、全教職員を対象とした研修を**eラーニング形式**で実施します。

【研修内容例】

- Q1 インターネット上で情報を調べていると、「このPCは危険な状態にあります」とウィンドウ画面で表示された。すぐにクリックし、内容を確認する必要がある。○ or ×
- Q2 教師がSNSで児童生徒や学校の仕事内容等を書き込んだ。ただし友人とのやりとりのみとして公開しているので問題はない。○ or ×

A1 ×

インターネット上には、「お得な情報」や、「安全のためにここをクリックして下さい」など、利用者にとって有益な情報になりすまして被害を与えようとする、悪意のあるプログラムが存在します。内容を十分に確認し、安易にOKボタンをクリックしたり、ダウンロードしたりしないようにしましょう。

A2 ×

公開範囲に関わらず職務に関することをSNS等へ書き込むことは守秘義務違反となります。また、児童生徒の情報を書き込むことは個人情報保護法違反等になるので、公開範囲限定であっても書き込んではいけません。

※常日頃から、情報モラル・情報セキュリティ意識の向上を図ることが大切です。